

AQUAチャレンジカップ OFA第50回大阪府サッカー選手権大会(U-12) 大会規定 (2026年)

1	大会名	AQUAチャレンジカップ OFA第50回大阪府サッカー選手権大会(U-12)
2	主催	一般社団法人 大阪府サッカー協会
3	主管	一般社団法人 大阪府サッカー協会 第4種委員会
4	後援	スポーツニッポン新聞社
5	特別協賛	アクア株式会社
6	協力	
7	第1回代表者会議	4月5日(日)北区民センター 18:00受付開始 18:30会議開始 AQUAチャレンジカップにエントリーしたチームは出席必須。欠席は認めない。 欠席の場合はAQUAチャレンジカップへの参加は認めない。 4種リーグU10、U11、U12への複数カテゴリ複数チームエントリーに跨る場合はチーム母体1名だけの出席でよい。
8	4種の集い(シーズン開会式)	5月10日(日)開催予定。4種の集い(シーズン開会式) Presented by YAMMAR 会場: YANMAR HANASAKA STADIUM(ヤンマーハナサカスタジアム) 4種委員会上期大会へエントリーしたチームは最上級学年チームの1チームの編成で必ず参加すること。AQUAチャレンジカップの予選試合が組み込まれてしまい、最上級学年での参加が困難な場合や参加出来ない場合には、(シーズン開会式)への参加チーム編成は自由(低学年での編成や女子選手参加を推奨)とする。 4種の集いへの参加は必須とする。欠席は認めない。
9	参加費	6000円×エントリーチーム数(上限3チームエントリーまでとする)(当協会の主催する競技会への参加費は不課税取引として取扱いとなる)
10	中央大会参加費	1チームにつき5,000円を中央大会初日に徴収する。
11	エントリー	エントリー方法(第4種委員会HPに掲載) 上期大会エントリー期間:【開始】3月23日(月)~【締切】4月7日(火) (#A)「エントリーサイトの入力/メール連絡」と(#B)「大会参加費の振り込み」を【締切】4月7日(火)までに行うこと。 締切日までに(#A)と(#B)の両方が完了していない場合はAQUAチャレンジカップへの参加は認めない。 1チームエントリー(複数エントリーしていないチーム)の場合でもチーム内に大会に参加出来る最高学年は1人以上いることとする。また、その他の学年は最大7名までとする。 複数エントリーの場合、1st2nd各チーム内に大会に参加出来る最高学年が1人以上と、その他の学年は最大7名以内までとする。 複数エントリーチームのメンバー表提出は4/15(水)までとする。提出方法は複数エントリーチーム用メンバー表をメールにて下記アドレスに送ること。 提出先 t_mori_0415@yahoo.co.jp 森まで 提出期限を過ぎたメンバー表は認められないため、遅れた場合は1stのみのエントリーとなり、2ndチーム以降は棄権負け扱いとなる。4月中にメールにて返信するので、返信メールに添付されているメンバー表を使用すること。
12	選手の参加資格	エントリー欄に詳細を記載
13	次年度大会参加	今年度の各種大会に参加した中で不備等が多数発生したチームに対する次年度対応は4種委員会で協議してOFA執行部の審査を経た結果を告知する。 当該チームはその告知に従う義務を負う。
14	各大会への出場権	なし
15	抽選	本部抽選とする
16	競技人数	8人
17	会場	大阪府下全域
18	開催期間	①予選大会日程: 5月10日(日) 5月17日(日) 5月24日(日) 5月31日(日) 6月7日(日) 6月14日(日) 6月21日(日) 6月28日(日) ②上記日程を基本としているが、雨天延期や会場提供日の偏りなど考慮して土曜日に試合を組む場合もある。 ③中央大会日程: 9月5日(土)~6日(日) J堺にて開催予定。(変更の場合もある) サッカー活動中の落雷事故防止について 中央大会期間中に落雷や暴風警報などで大会が実施できない場合は抽選の上順位を決定する。
19	バス日	なし
20	落雷、荒天等による再試合	落雷、荒天や選手の怪我などの場合運営側は人命最優先とし、それらにより試合続行が困難な場合は試合を不成立とし、再試合とする。 その判断は会場責任者が行う。参加チームは会場責任者の判断に従うこと。試合中に中断した場合は残り時間を再試合として実施する。 再試合時は中断した場所がインプレーであればセンターサークルからドロップボール、アウトオブプレーの場合はその場所から再開する 再試合時の審判、出場選手は中断時と同一が望ましい。中断期間中に別の試合で出場停止処分を受けた場合でも、再試合には出場できる 中央大会期間中(9/5~9/6)の落雷や暴風警報時など試合を中断する場合は予備日が確保できない為抽選で順位を決定する。
21	肖像権	一般社団法人大阪府サッカー協会に認められた提携写真事業者によって撮影された写真が「参加者向け写真販売サービス(ウェブサイトを通じた通信販売を含む)」を行うことがある。一般社団法人大阪府サッカー協会又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。 これらの肖像権に関する事項は大会参加申込として大会エントリーをした時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する
22	撮影機器の使用	各会場の指示に従うこと。(鶴見人工芝はスタンド、J堺、万博FA、四条畷FAはフェンスの外)ベンチを含むテクニカルエリア内での集合写真や試合中の撮影は認められない。
23	その他	①負傷者については各チームにて対応し、主催者、主管者及び会場責任者は一切の責任を負わない ②大会参加チームは必ずスポーツ傷害保険に加入していること ③各会場本部役員及び各会場提供責任者は、AEDの設置場所の確認に努める。 補聴器等の装具を着用しての試合出場について ④ベンチ入りスタッフは小学生年代の指導者として相応しい服装・態度であること。 ⑤テクニカルエリア内でのテントの使用は認めるが、傘の使用は認めない ⑥会場責任者の指示に従わない場合。駐車制限、喫煙、ゴミの不始末、施設破損等の問題があった場合。レギュレーション違反があった場合。 第4種委員会「観戦&応援ルール」違反の場合、予期せぬ問題が発生した場合上記の場合、第4種委員会、OFA司法機関で規定に準じて対応を決定する。その対象チームは決定した懲罰を遵守しなければならない。なお、当該チームの保護者の行為も含まれるので、その啓発及び周知徹底の義務を有する。 ⑦補聴器等の装具を着用しての試合出場について当該選手・大会主催者・審判団・対戦相手チームの四者間にて四者全員が着用について事前に同意し ⑧本レギュレーションは適宜改訂、改善をしていくものとする

AQUAチャレンジカップ OFA第50回大阪府サッカー選手権大会(U-12) 大会規定 (2026年)

24	競技規則	大会規定に記載のないものは(公財)日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」最新版に準じ、これ以外の部分は、(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」に準ずる。
25	競技方法	大阪府下全域によるトーナメント方式
26	競技時間	①試合時間は40分(20分-5分-20分)ただし中央大会2日目(9/7)のみ1日3試合となるチームがあるため15分ハーフでの実施とする。 ②同点の場合は3人制のPK戦を実施。両チームの得点が同じ場合は、同数のキックで一方のチームが他方より多く得点するまで、順序を変えことなく交互にキックは続けるものとする。 ③準決勝、決勝、3位決定戦の4試合に限り5分ハーフの延長を実施する。それでも決着がつかない場合はPK戦とする。
27	棄権 (書類不備) (審判不履行)	①「選手証」「メンバー表」「送り書」などの書類不備が生じた場合や参加資格のない選手を出場させた場合などのスコアは0-99とする。 ②審判不履行などの大会運営に重大な支障をきたしてしまった場合、その指導者のチームの試合を不戦敗(0-99)とする。
28	試合の成立	試合開始時に6名以上とし、一方のチームが6人に満たない場合は試合を開始しない。ただし、試合中の負傷等による競技者が6人未満にならない限り試合は続行する。
29	コートサイズ	68m×50mを推奨する。ゴールの大きさは5m×2.15m(少年用サッカーゴール)とする。
30	大会期間中の移籍	①選手個人のチーム移籍自体を制限しない。チームを移籍して1人の選手が移籍元と移籍先を併せて同一大会へ再度(2度以上)出場する事だけを承認出来ないものである。 ②移籍をした1人の選手が同一大会に移籍元と移籍先を併せて再度(2回以上)出場しない事が遵守されていれば規定違反ではない。選手移籍自体は制限しない。 ③移籍元のチームにおいて本大会に出場した者に関しては移籍先のチームにおいてその出場を認めない。選手移籍自体は制限しない。 ④大会期間中に保護者転勤やその他理由での転居などの止む負えない理由での選手移籍は審議した結果、第4種委員長が状況を確認し承認した後で出場出来る。 ⑤状況に応じた審議の結果で、転居であっても認められない場合もある。
31	メンバーチェック	①予選期間中は自チームの試合前の後半開始5分までに対戦相手同士による【選手証】【メンバー表】【送り書】【ユニホーム】のチェックを行う。中央大会は本部にてチェックを行う。試合開始30分前までに本部【選手証】【メンバー表】【送り書】を提出して本部のチェックを受けること。 ②【選手証】とは電子登録証のカラーコピーであり、携帯電話などの画面での確認は不可とする。選手証、メンバー表と当日の選手の並びは全て同じになるように揃えておくこと。 ③審判割り当てが自チームの試合の前試合の場合で、相互チェックが難しい場合のみ本部で行う。当日事前に本部に連絡すること。 ④【送り書用事項】へのサインは本部がするため、相互チェック終了後の書類は本部に提出すること。 ⑤ユニホームに広告がある場合はJFAからの「回答書」を持参しておくこと。ユニホームのチェックは両チームが同色にならないようにする。
32	審判	①1人制で行う(主審・補助審判ともに3級ライセンス以上の資格者が行うこと) ②主審・補助審判は、試合開始前にお互いが打ち合わせ等の準備に努める。 事前に割り当てられた審判を不履行の場合は、第4種委員会、OFA規律委員会等司法機関にて検討して対応を決定する。 ③補助審判は、会場報告書の記載のほか、スローインやオフサイドなど主審に協力して試合を運営する。ただ決定権は主審にしかない。 ④新規及び昇級等で審判証が手元にない場合は、審判委員会の押印のある合格(証)通知と顔写真付きの本人確認できるものを提示する義務を負う。 ⑤3級審判が出せなかったなどの審判不履行の場合不履行をしたチームに対しては第4種委員会、OFA規律委員会等司法機関にて検討して対応を決定する。 ⑥協会派遣の場合、及びアクティブ登録を行い指導を受けた審判員の主審を認める。通常のユース審判員の中央大会までの補助審判を認める。 ⑦正規の審判服を着用すること(アンダーシャツ・アンダーシューズは同色または黒のみ認める) ⑧審判証の提示及び所定の位置にワッペンを貼付を義務とする。(カラー電子登録証)携帯電話などの画面での確認を認める。
33	選手交代	①ベンチ入りメンバーは指導者3名と登録選手のうち16名のみとし、交代の人数制限はなしとする。 ②ベンチ入りメンバーの中で人数制限なく自由な交代ができる(主審の許可を得ず交代ゾーンから行う) ③GKが交代する場合は主審の許可を得る。交代して退くGKは、境界線の最も近い地点から競技のフィールドの外に出る。代わりに入るGKは交代ゾーンからフィールドに入る。
34	警告・退場	①大会期間中、警告の累積が2回になった選手・指導者は次の1試合に参加できない。 ②退場を命ぜられた選手・指導者は最低でも次の1試合に参加できない。(その後の処置はOFA執行部、OFA司法機関規律委員会にて審議して決定) ③試合中に負傷退場した場合、主審は別の選手を補充して8人にしてから試合再開しなければならない。(ただし、登録選手が8人の場合除く)
35	会場責任者の役割	会場設営、備品の準備(本部、チームベンチ、テクニカルエリア等) 試合終了後、速やかにブロック長へ「試合結果」をメールにて提出する。試合会場で起きた重要事項があればそれもブロック長へ連絡すること。(当日の20:00まで) 試合会場の日程を円滑に進めるために、路上駐車やマナーの良くない応援をする方がいた場合、当該チームの当日責任者へ報告し、是正させる権限を有する。第4種委員会「観戦&応援ルール」に違反している場合は チームの当日責任者からマナー違反の保護者へ改善を早急に行ってもらうこと。 出来ない場合は大会規律委員会(#41)へ報告すること。 (第4種委員会「観戦&応援ルール」)⇒ 
36	ユニフォーム	①FP・GK(シャツ・シューズ・ソックス)はそれぞれ別色の正副の2着を用意する。(JFAユニフォーム規定参照) ②ユニホームとはFPで番号以外は全く同じもの、GKで番号以外は全く同じものこととする。(ただし、メーカーロゴの変更や移動のみの場合はその限りではない) ③両チーム同色や区別が付きにくい場合は大会本部にて事前に両チーム立会いのもとユニフォーム各2組から、判別しやすい組合せを決めておき主審の確認を持って決定とする。 ④カーフソックスを使用する場合は下にはソックスはカーフソックスと同色のものとする ⑤ベンチ選手、指導者はユニホームと同色のウェアは着用できない(ビブスや別色のウェアで対応すること) ⑥GKがFPとして出場する場合、または逆の場合において、他選手と重複しない固有番号であれば、正副の番号は一致しなくても出場を可とする。 ただし、事前にメンバー表にそれぞれの背番号を記載しておくこと。 ⑦FP、GK共にテーピング等をソックスの上に着用する場合は着用するソックスの部分と同色のみ認める ⑧FPの着用する手足の関節(局部)などを保護するために当てるゴムを織り込んだ布製の包帯(サポーター)とGKの着用するエルボーパット、ニーパッドはユニホームとは別扱いとし、ユニホームと別色でも可とする。 ⑨GK及びFPのビブス着用での試合出場は認めない。
37	アンダーシャツ	シャツの袖の下から見える場合袖の主たる色または裾と同色であること、また袖の主たる色と裾の色が別色の場合チームでどちらかを選び統一していることとする。
38	アンダーシューズ	シューズの下から見える場合シューズの主たる色または裾と同色であること、またシューズの主たる色と裾の色が別色の場合チームでどちらかを選び統一していることとする。
39	背番号・胸番号	シャツの前面及び背面には、選手番号を必ず表示しなければならない。 選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩(服地が縞柄等であって明確な識別が困難なときには、台地を付ける)かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。 選手番号の数字は服地の上に縁取りだけの表示は認めない。
40	ベンチ・テクニカルエリア	①チームベンチには指導者3名までと登録選手のうち16名のみとする。(合計19名以内とする) 指導者3名はテクニカルエリア内では責任ある態度で行動しなければならない。 ②指導者3名は競技中(試合中)にテクニカルエリアより主審の許可なくピッチ内への立ち入りは認められない。交代選手も同様とする。 (得点の喜びの際ピッチ立入は禁止する) ③テクニカルエリアからの戦術的な指示を伝える権限は、一度に1人だけに与えられている。ベンチ、テクニカルエリア内での集合写真や試合中の動画、静止画共に撮影は認められない。
41	大会規律委員会	①本大会においては、JFA「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。会場責任者の指示に従わない場合、駐車制限、喫煙、ゴミの不始末、施設破損等の問題があった場合、大会規定違反があった場合、予期せぬ問題が発生した場合、この場合、大会規律委員会にて対応方法を検討決定し、その対象チームは対応方法決定事項を遵守しなければならない。 ②当該チームの保護者の行為も含まれるので、その啓発及び周知徹底の義務を有する。(第4種委員会 観戦&応援ルール#40)